

## 平成 29 年度輸送の安全に関する公表（情報公開）

東邦交通株式会社は、平成 29 年度運輸安全マネジメントに関する取り組みについて、次のとおり輸送の安全に関する公表を行っております。

### 1. 輸送の安全に関する基本的な方針「安全方針」

#### 1) 安全はすべてに優先

私たちは、安全な運行・車両を提供するとともに、お客様の安全を最優先に行動することにより、一致団結して輸送の安全を確保します。

#### 2) 法令や規則を遵守

私たちは、輸送の安全に関する法令や規則を遵守し、常に輸送の安全に関する状況を確認、交通秩序を乱さずに忠実に職務を遂行します。

#### 3) 安全の継続的改善

私たちは、常に輸送の安全の確保に向けた問題意識を持ち安全対策の継続的改善に努めます。

### 安全宣言

- (1) 安全運転は最大の顧客満足
- (2) 安全確認と法令遵守は仕事の基本
- (3) 安全対策の継続的改善

### 2. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

### 3. 自動車事故報告規則第 2 条に規定する事故に関する統計

（総件数及び類型別の事故件数）

	重大事故		有責事故		無責事故	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
平成 24 年度	0 件	0 件	50 件	61 件	—	50 件
平成 25 年度	0 件	0 件	50 件	45 件	—	49 件
平成 26 年度	0 件	0 件	43 件	52 件	—	40 件
平成 27 年度	0 件	0 件	45 件	46 件	—	49 件
平成 28 年度	0 件	0 件	40 件	63 件	—	45 件
平成 29 年度	0 件	0 件	40 件	—	—	—

### 4. 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統

## 5. 輸送の安全に関する重点施策

- (1) 輸送の安全確保が最も重要であるという意識を徹底し、輸送の安全を確保する上で必要な次に掲げる事項に関し、関係法令及び安全を管理する規程に定められた事項を遵守すること。
  - ①輸送に従事する社員の確保
  - ②輸送施設の確保及び作業環境の整備
  - ③安全な輸送サービスの実施及びその監視
  - ④事故等への対応
  - ⑤事故等の再発防止措置及び予防措置
- (2) 輸送の安全に関する費用の支出及び投資を積極的かつ効率的に行う。
- (3) 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講ずる
- (4) 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、情報を共有する。
- (5) 輸送の安全に関する教育及び研修の計画を作成し、これらを適確に実施する。
- (6) 当社グループ会社（東邦モータース・東邦マルニサービス・東邦保険サービス）と相互に協力し、連携して輸送の安全に性の向上に努める。

### 具体的な取り組み事項

- (1) 心と身体の健康は安全の基本  
(社員同士のコミュニケーションを大事にしよう)
- (2) 行動前のT・M・M
  - ・一時停止では2段階停止を確実に実行しよう
  - ・後退時は焦らず目視での安全確認を徹底しよう
  - ・運転中は2秒以上の目線固定が危険を誘発することを理解しよう
- (3) ドライブレコーダーの有効活用
  - ・点呼時に映像での注意喚起及び心得  
(事故映像、接客映像、交通違反映像等)
  - ・ヒヤリ・ハット収集
  - ・重点目標の実例映像の活用
- (4) 内部監査を行い必要な是正措置を講じる

## 6. 輸送の安全に関する計画

乗務員研修の年間計画を作成し、初任乗務員研修、適齢乗務員研修、現認乗務員研修を行い、輸送の安全確保に向けた意識の向上を図ります。

### (2) 乗務員教育

乗務員教育の年間計画を作成し、初任、適齢、現任乗務員に対する関係法令の遵守、「交差点での事故防止教育」の小集団教育を実施して輸送の安全確保に向けた意識して輸送の安全確保に向けた意識の向上を図ります。

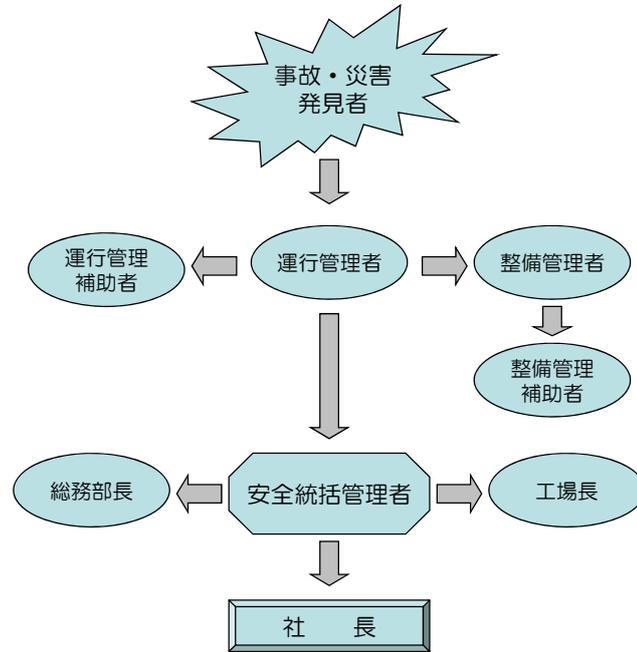
### (3) 通安全運動等期間中は、事故防止運動を実施します。

- ・春の全国交通安全運動
- ・夏の事故防止運動
- ・秋の全国交通安全運動
- ・年末年始の自動車輸送安全総点検

### (4) 輸送の安全に関する内部監査を年間に1回以上実施し、是正・予防措置を講ずるとともに、継続的改善に努めていきます。

## 7. 事故・災害等に関する報告連絡体制

事故・災害等に関する報告連絡体制図



## 8. 輸送の安全に関する教育及び研修の計画

- (1) 輸送の安全に関する教育・・・・・・・・・・・・・毎月1回開催
- (2) 乗務員教育、研修・・・・・・・・・・・・・四半期毎1回開催
- (3) 関係法令、社内規程の遵守教育・・・・・・・・・・・・・四半期毎1回開催
- (4) 事故惹起者に対する指導・・・・・・・・・・・・・事故発生直後



## 9. 輸送の安全に関する内部監査結果及びこれを踏まえた措置内容

運輸安全マネジメントの実施状況を確認するため、輸送の安全に関する内部監査を年1回実施しています。

### 【平成28年の実施概要】

実施期間：平成29年5月

監査対象：代表取締役社長、安全統括管理者

監査結果：改善事項として指摘を受けた「東邦交通ハザード・マップの作製」については乗務員控室に札幌市の全体図で事故の発生場所、日時、事故概要を一月分掲示し又、事故のドライブレコーダー映像を見せ運転者自身が事故防止の対策をたてる事が出来る様にし、安全意識の高揚を図り事故撲滅を推進することとする。

## 10. 行政処分内容、講じた措置等

当社は、平成21年9月1日に北海道運輸局による、一般乗用旅客自動車運送事業の運営について監査を受けた結果、以下の行政処分を受けました。

この処分を厳粛に受け止め、全社員が初心にもどり、基本から事業の運営体制を整え、運輸安全マネジメントへの取り組みを継続し、輸送の安全確保に努めてまいります。

行政処分内容 輸送施設の事業のための使用停止125日車  
平成21年10月30日

### 講じた措置

- 日報、チャート紙の管理を徹底
- 運行管理窓口の体制改善、乗務員点呼簿管理による時間管理の徹底
- 高精度のアルコールチェック装置導入と出庫点呼時及び帰庫点呼時の記録
- ハイヤー用運転日報の記録事項改善
- 乗務員台帳の管理充実化
- 運輸規則の規定に基づく運転者に対して行なう指導及び監督の指針を満たした教育計画の作成と実施
- 高齢者運転者に対する適性診断の受診記録管理の充実化

Ref. No. 2011 札主 P001

評価日：平成 23 年 12 月 16 日～17 日

## NASVA 運輸安全マネジメント評価報告書

事業者名称：  
東邦交通株式会社

評価実施場所：  
北海道札幌市西区発寒 14 条 11 丁目 1-15

代表者氏名：  
代表取締役 今井 一彦

評価チームリーダー：  
NASVA 安全評価員 永井 勝典

総合所見：（詳細項目は別添参照）

〔評価事項〕（取組みが進んでいる事項）

1. 安全管理体制の構築・改善に向けた経営トップの主体的関与
2. 安全方針の浸透度・理解度の定量的把握及び安全方針の理解促進可能な安全宣言の策定
3. 安全重点施策の策定から見直しに係る仕組みの構築
4. 安全統括管理者の積極的な責務遂行
5. 運輸安全に向けた的確な情報伝達及び共有が可能な企業風土づくりと円滑なコミュニケーション
6. 重大事故対応訓練の実施から見直しに係る一連の取組み
7. 安全管理体制の改善のための内部監査実施体制

〔助言事項〕（今後の取組みの推進事項）

1. 安全管理体制の構築・改善に向けた経営トップの主体的関与の継続と責務の遂行
2. 収集した事故情報の分類・整理及び自社の傾向分析による事故の再発防止
3. 内部監査実施時期等の見直し

署名：評価チームリーダー（NASVA 安全評価員）

永井 勝典

備  
考

Ref. No. 2013 札主 P001

評価日：平成 26 年 3 月 13 日～14 日

## NASVA 運輸安全マネジメント評価報告書（第 2 回）

事業者名称：  
東邦交通株式会社

評価実施場所：  
北海道札幌市西区発寒 14 条 11 丁目 1-15

代表者氏名：  
代表取締役社長 今井 一彦

評価チームリーダー：  
NASVA 安全評価員 三ツ木 康智

総合所見：（詳細項目は別添参照）

〔評価事項〕（取組みが進んでいる事項）

1. 安全管理体制の構築・改善に向けた経営トップの主体的関与と責務の遂行
2. 風通しの良い職場環境を目指したコミュニケーションの充実・強化
3. 事故の更なる削減に向けた根本原因分析手法の活用による背後要因を探る取組みの実施

〔助言事項〕（今後の取組みの推進事項）

1. 安全管理体制の構築・改善に向けた経営トップの主体的関与の継続と責務の遂行
2. 安全重点施策に係る目標を達成するための取組計画（具体的な取り組み事項）の進捗状況を定期的に把握する仕組みの構築
3. 実施した教育の効果把握の指標（事故削減率）の再検討

署名：評価チームリーダー（NASVA 安全評価員）

三ツ木 康智

備考

NASVA 運輸安全マネジメント評価(第 1 回):平成23年12月16日～17日